

2017年1月5日

「公式プロジェクション技術」として当社のプロジェクションテクノロジーが認定される

ウォルトディズニーワールドリゾート、ディズニーランドリゾートと戦略的提携関係を締結

パナソニック株式会社とウォルトディズニーパークス&リゾーツは、パナソニックのプロジェクション・イメージングテクノロジーが、ウォルトディズニーワールドリゾート(フロリダ州レイクブエナビスタ)と、ディズニーランドリゾート(カリフォルニア州アナハイム)の「公式プロジェクション技術」として認められたことを発表しました。この提携合意により、ディズニーは上記2つのリゾートで、マーケットをリードするパナソニックの最新のプロジェクターを、先進の映像処理技術やレンズソリューションとともに使用することが可能となります。

「おとぎの国(ストーリーテリング)」のリーダーとして、ディズニーは革新的なアトラクションやエンターテインメント、魔法の国(マジカルランド)を生み出し、訪問されるゲストが大好きなおとぎの国の世界に浸らせています。ディズニーの豊かな創造性と、パナソニックの最先端のプロジェクションテクノロジーを組み合わせることにより、ディズニーワールドリゾートとディズニーランドリゾートのゲストに、さらに驚いてもらえるような、新しいエンターテインメントを提供することが可能になります。

パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社社長の榎戸 康二は、「ディズニーワールドリゾートとディズニーランドリゾートのアトラクションに訪れる数百万人もものゲストの心を掴むおとぎ話に、当社の高性能プロジェクターがどのように貢献していくかを一緒に考えていくことになり、大変嬉しく思っています。この提携により、パナソニックブランドは何世代にもわたる信頼を獲得することになります。我々は新たな技術ビジョンをもってアメリカのディズニーのテーマパークの創造と革新を支えてまいります」と述べています。

パナソニックは既にディズニーのアメリカにあるテーマパークのアトラクションにおいて、技術面で重要な存在となっています。具体的にはディズニーパーク内の“Finding Nemo Submarine Voyage”や、ディズニーカリフォルニアアドベンチャーパークの“Radiator Springs Racers”。マジックキングダムパークの“Haunted Mansion”や“Seven Dwarfs Mine Train”。エプコットの“Frozen Ever After”や“Gran Fiesta Tour Starring The Three Caballeros”。さらにウォルトディズニーワールド内アニマルキングダム・テーマパークにオープン予定の新エリア“Pandora – the World of Avatar”で、これから公開となる“Na’vi River Journey”です。

ディズニーのコーポレートアライアンスを担当する、カルロス・カストロ副社長は、「私たちはウォルトディズニーワールドリゾートとディズニーランドリゾートで、ゲストが他では体験できない、大切にしたい思い出となるような、唯一無二の世界レベルの体験を提供していきます。パナソニックと共に、エキサイティングで革新的な新しいおとぎ話を考え続けていくことになり、わくわくしています」と述べています。

パナソニックは高輝度プロジェクターのリーディングカンパニーで、7年連続でトップシェア*のポジションを堅持しています。先進の映像処理などの特徴のある技術で、パナソニックのプロジェクターは優れた映像品質、製品の高い耐久性と、メンテナンスコストの削減を提案しています。

* 5,000lm(ルーメン)以上の輝度のプロジェクターにおいて。